

2020年8月3日
株式会社キャピタルメディカ

キャピタルメディカ、東京都水泳協会 新型コロナウイルス感染対策ガイドラインに沿った 模擬水泳講習及び模擬水泳競技会を実施

公益財団法人東京都水泳協会（東京都渋谷区、会長：北島康介）は、新型コロナウイルスの影響による学校での水泳授業中止やプール施設の人数制限、また国内外の水泳競技会の中止による選手への影響を危惧し、新型コロナウイルス感染症アドバイザリーサービスを提供している株式会社キャピタルメディカ（本社：東京都港区、代表取締役：古川淳）監修のもと「水泳講習及び水泳競技会の新型コロナウイルス感染対策ガイドライン」を策定。8月3日（月）に模擬講習と模擬競技会を東京辰巳国際水泳場にて実施いたしました。

発表会の冒頭では今年6月東京都水泳協会の会長に就任した北島康介が挨拶。スイマーはもちろん、指導者や保護者など水泳に関わる全ての人々が新型コロナウイルスの特性を正しく理解し、感染防止策に努める必要性を訴えました。また一人でも多くのスイマーが安心してプールに入れるように、そして安心して大会に出場できるようにガイドラインの拡散の協力も呼びかけました。



#OpenPoolsSafely ガイドラインは東京都水泳協会ウェブサイトにはアップされています

続いて、キャピタルメディカの実業医・西村祥一が水泳講習のガイドラインについて、東京都水泳協会の専務理事・内田孝太郎が水泳競技会のガイドラインについて主な項目を説明しました。

その後、ガイドラインに沿ってサブプールで模擬水泳講習を実施。受付で健康管理表の提出と検温を行い、更衣室でまずは手洗いをし、マスクを着用したまま距離を取って着替えた後、共用シャワーを浴びてプールへ移動。インストラクターはマスクを着用して指導を行い、25m プール内では1コース10名までとし、プール内外での子供同士の距離をできるだけ2m以上空けるなどの対策を講じてレッスンを行いました。



受付で検温



更衣室での手洗い



更衣室で距離を空けて着替え



マスクして指導、距離を空けて準備運動

そして、最後にメインプールで模擬水泳競技会を実施。選手はできるだけ2m以上距離を空けた招集所で待機し、入場後、着用していたウェアやマスクは脱衣かごではなく各自持参した袋に入れ、スタート台のバックプレート動かす前後に手指を消毒。レース直後は呼吸が落ち着くまでマスクを着用せずに指定の場所でできるだけ2m以上距離を空けて待機し、呼吸が整ってからマスクを着用し退場しました。また観客も大きな声を出さずに大きな拍手で応援しました。



バックプレート動かす前後に手指消毒



脱いだウェアを袋に

尚、「水泳講習及び水泳競技会の新型コロナウイルス感染対策ガイドライン」については東京都水泳協会のウェブサイトにて公開しています。今後、水泳講習及び水泳競技会のガイドライン動画も作成し、東京都水泳協会のウェブサイトで8月14日（金）に公開する予定です。

<http://tokyo-swim.org/>

東京都水泳協会では8月22日（土）より東京都特別水泳大会【競泳競技】を順次開催することになっています。感染リスクはゼロではありませんが、受講者、指導者、保護者、選手、チームスタッフ、競技役員のひとり一人が自覚と責任を持って自己防衛をする重要性を訴えていきます。

【株式会社キャピタルメディカ】

所在地 : 東京都港区虎ノ門 1 丁目 2-3 虎ノ門清和ビル

事業内容 : 病院の経営・運営支援/医療周辺サービス事業/介護施設の運営

資本金 : 1355.5 百万円(2020 年 2 月現在)

ホームページ : <https://capimedi.com/>

「新型コロナトータルサポート」サービスページ : <https://capimedi.com/bbb/>

◎キャピタルメディカ「新型コロナトータルサポート」サービスに関するお問い合わせ窓口

Mail : c19-advisory@capimedi.com

◎本件に関する報道機関からのお問い合わせ

株式会社キャピタルメディカ 担当者 飯塚 電話 : 03-5501-2271 (代表)

株式会社 IMPRINT 担当者 金子 電話 : 080-4185-0145 yudai@imprint.jp

◎東京都水泳協会へのお問合せ

公益財団法人東京都水泳協会 担当者 内田 TEL:03-5422-6147